

# メガソーラーの急増に伴う 景観計画変更に関する研究

## ■目次

1. 研究背景
2. 研究目的
3. 研究対象
4. 解析方法
5. 解析結果
6. まとめ

山梨大学生命環境学部  
地域社会システム学科  
木村 太星

# 1. 研究背景

電気事業者に再生可能エネルギー発電による電力の買取りを義務付ける固定価格買取制度を主な内容とした「再生可能エネルギー特別措置法」が2012年に施行された。売電ビジネスを目的とした事業用太陽光パネルの設置が山梨県北杜市に急増した。



無造作な太陽光パネルの設置により住民から景観悪化などの声があがり、北杜市は景観計画の変更を迫られた。2016年1月8日～2月1日にかけて「北杜市景観計画の変更について」のパブリックコメントの募集が行われた。



# 太陽光撤去求め提訴へ

## 「景観損なう」「地価下落」

北杜住民

北杜市小瀬沢町下菅原の太陽光発電施設隣接する民の住人らが入り、施設建設で生活環境が悪化したなどとして、施設を所有する業者を相手取り、太陽パネルの撤去・新たな施設の建中止を求める訴訟を近く申付地裁に提起する。住民側は訴訟で争われる、太陽パネルで遮られた景観で暮らしが苦しくなり、地価が下落したと主張。県内で急増する太陽光発電施設に対しては、住民が住環境や景観の悪化を訴え、行政などに対応を求めるケースが相次いでおり、今回は訴訟法廷に持ち込まれる事態となる。

訴訟するのは、同所の太陽光発電施設近くの民家に住む主婦。施設は太陽光パネルの撤去を求め、熱風が吹くようになったり、クーラーを回す必要がなくなったと主張。また、約40平方メートルの土地に約200枚の太陽光パネルが設置されている。住民側は訴訟で、住人の隣が太陽光パネルに変わり、庭先からの眺望や地域の景観が損なわれたと主張。さらに不動産業者による査定で、施設建設前と比べ土地の価値が下落し、財産権が侵害されたとしている。

原告の一人、施設の隣の住人らによると、太陽光パネルが設置された後、景観が損なわれ、地価も下落したと訴えている。また、施設建設による騒音や振動も問題視している。住民側は訴訟を通じて、景観の回復と地価の回復を求め、業者に対し、施設建設の中止とパネルの撤去を求め、損害賠償を請求している。

訴訟については弁護士に相談し、対応を検討したいとしている。また、住民側は訴訟を通じて、景観の回復と地価の回復を求め、業者に対し、施設建設の中止とパネルの撤去を求め、損害賠償を請求している。

### かじネットワーク

## 太陽光施設規制強化に高い関心

# 意見公募 80件殺到

北杜市景観計画

北杜市による、太陽光発電施設の建設への規制を強化する「市景観計画」の改正案に対するパブリックコメント(意見公募)に市民から多くの意見が寄せられ、これまでに約80件に上っているという。従来の意見公募と比べると数倍の多さになる。市の担当者は「太陽光発電施設やそれをめぐる施策への関心の高さがうかがえる」と話している。

改正案は、出力10キロワット以上の太陽光発電施設を対象に届出を義務付けるほか、太陽光パネルの色や高さについて景観を阻害しないよう条件を設ける内容。市は併せて景観条例も改正する方針。有識者や市民への市ま

北杜市による、太陽光発電施設の建設への規制を強化する「市景観計画」の改正案に対するパブリックコメント(意見公募)に市民から多くの意見が寄せられ、これまでに約80件に上っているという。従来の意見公募と比べると数倍の多さになる。市の担当者は「太陽光発電施設やそれをめぐる施策への関心の高さがうかがえる」と話している。

改正案は、出力10キロワット以上の太陽光発電施設を対象に届出を義務付けるほか、太陽光パネルの色や高さについて景観を阻害しないよう条件を設ける内容。市は併せて景観条例も改正する方針。有識者や市民への市ま

を寄せた同市小瀬沢町下菅原の60代女性は「太陽光パネルが増えれば、観光資源の景観に大きな影響があると思う」と話している。

市内では、再生エネルギー特別措置法が施行された19年ごろから太陽光発電施設が急増。市民から景観への影響や土砂流出を懸念する声が上がっている。住民が生活環境が悪化したとして業者に対し、太陽光パネルの撤去を求める訴訟に発展する事例も出ている。

意見公募は2月1日まで、寄せられた意見は同月中旬にまとめる。市は景観計画の改正案を公表し、最終的な案を詰める。建設部の担当者は「寄せられた意見を分析し、案に反映させることができると期待している」と話している。

出典：山梨日日新聞(2016年1月25日)

出典：山梨日日新聞(2016年1月31日)



## 2. 研究目的

本研究の目的は、太陽光パネルの設置が先進的な山梨県北杜市の事例を分析することにより、これからの再生可能エネルギー普及に関する課題を洗い出すことである。

また、行政機関における新たなデータ処理の方法として、テキストマイニングの利用を念頭に置き、パブリックコメントの分析を行うこととした。



## 3. 研究対象

対象：北杜市内に在住、在勤、在学の方  
北杜市内に事業所又は事務所を有する個人  
および法人その他の団体  
その他計画等に利害関係を有する方

募集期間：2016年1月8日～2月1日

内容：「北杜市景観計画の変更について」  
北杜市の景観計画(案)に対する意見の募集

意見件数：262件

## 4. 解析方法

「北杜市景観計画の変更について」に関するパブリックコメントの自由記述を抽出した。以下のような語句は統一した。

太陽光パネル←太陽光発電施設、パネル  
住民←北杜市民、市民  
北杜市←市

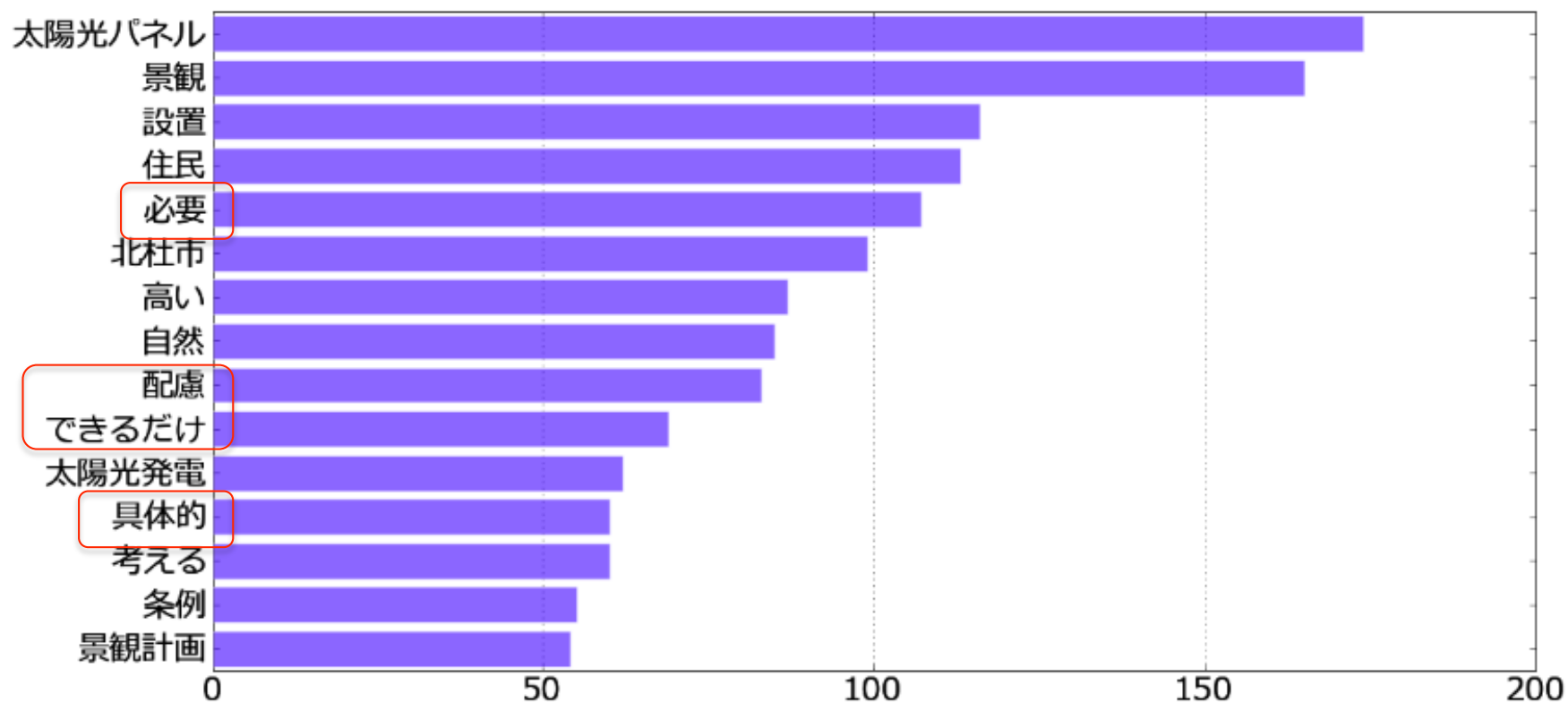
株式会社NTTデータ数理システムのText Mining Studioを活用して、以下の3つの解析を行った。

- ①単語頻度解析
- ②係り受け頻度解析
- ③ことばネットワーク

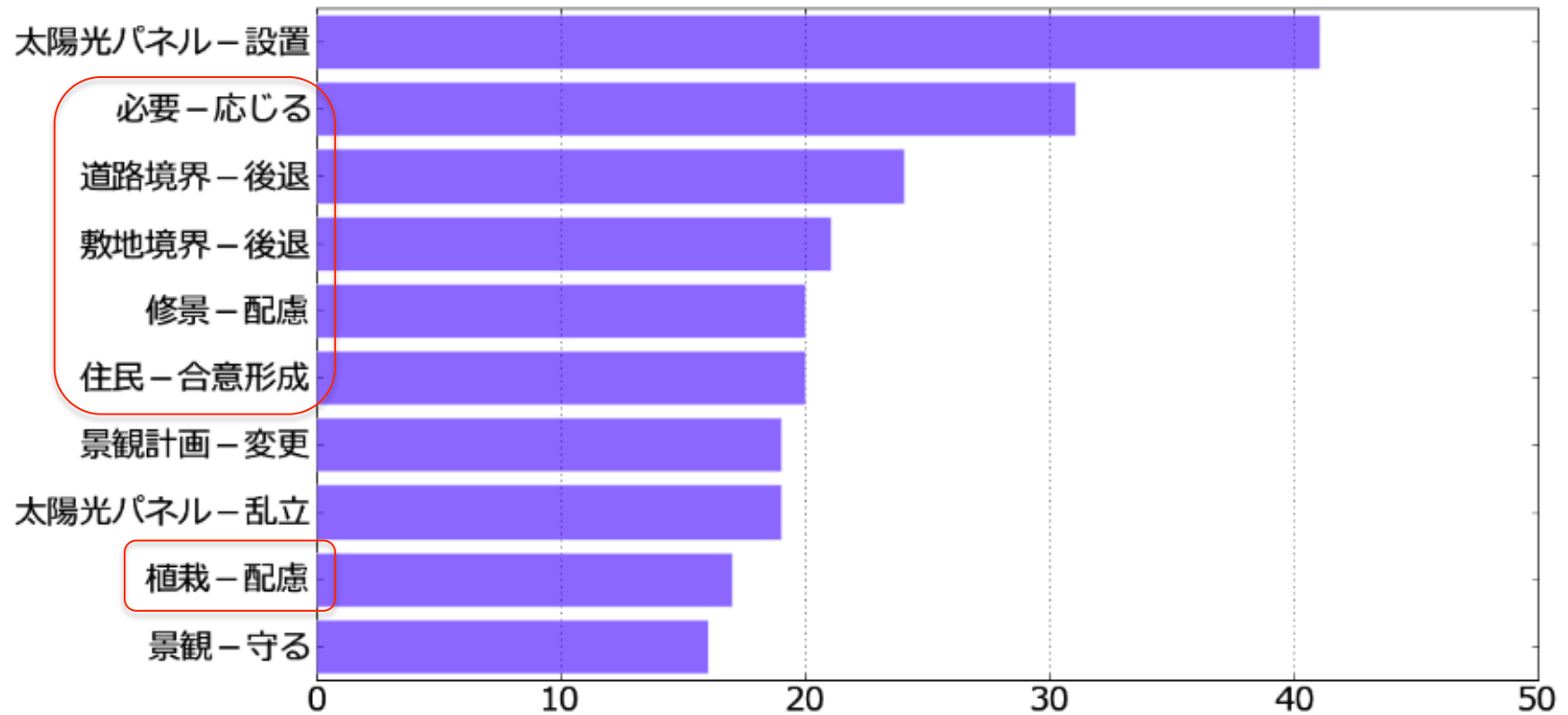


# 5. 解析結果

## ① 単語頻度解析



## ②係り受け頻度解析



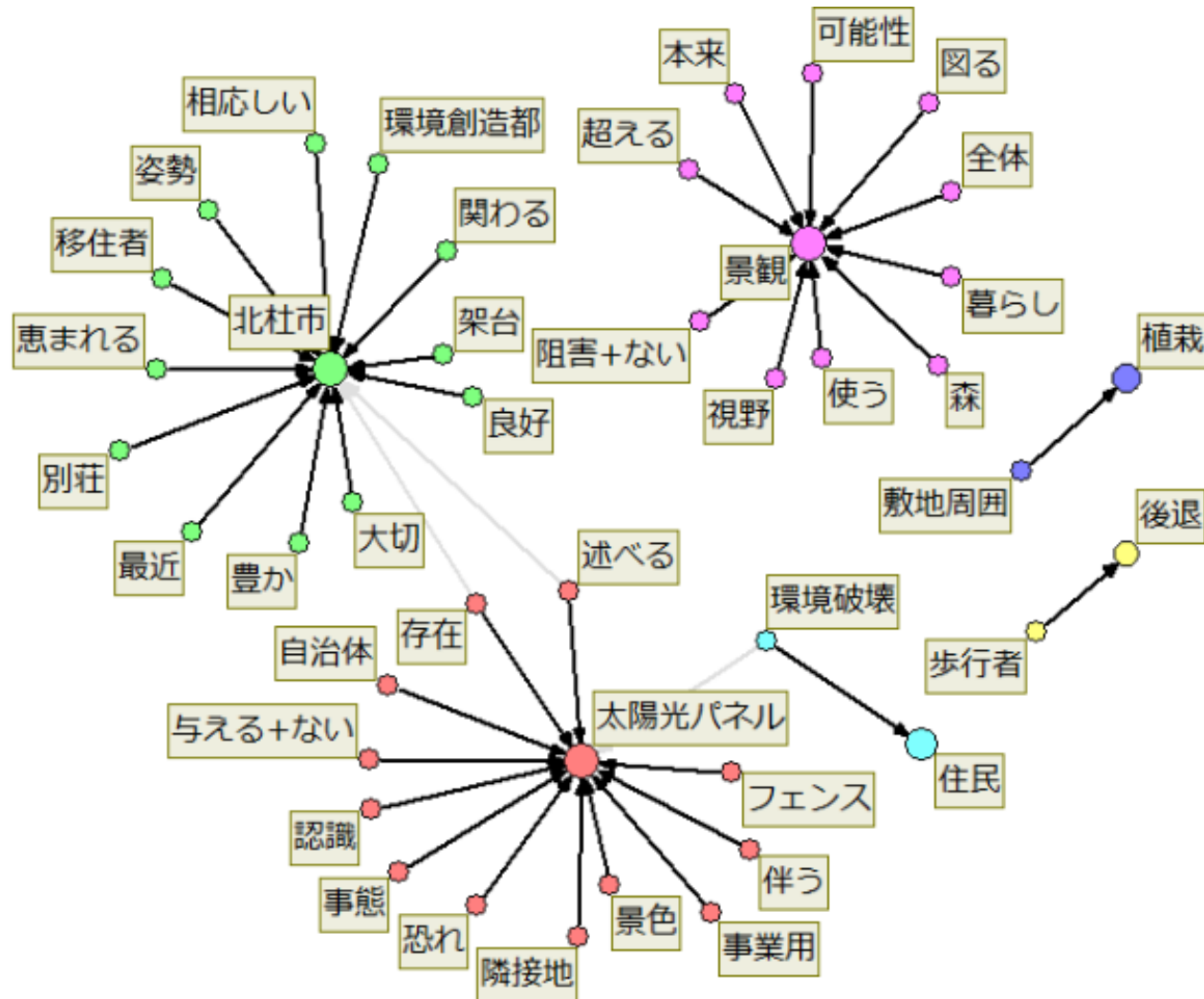


# 単語頻度・係り受け頻度解析の考察

原文検索の結果、景観計画(案)の「太陽光発電施設等の最上部はできるだけ低くし」、「太陽電池モジュールの勾配は周囲の景観に調和するように配慮すること」、「歩行者及び周辺の景観への影響のあるものは、敷地境界及び道路境界からできるだけ後退し、必要に応じて、植栽などにより修景に配慮すること」などが抽出された。

以上のような曖昧な語句を含む文言に対してより具体的な太陽光発電施設の高さや勾配、後退距離等の数値制限化、また、事業者と住民の合意形成の義務化を希望する意見が多数集まったことがわかった。

# ③ことばネットワーク





# ことばネットワークの分析1

## ①太陽光パネルを基点としたネットワーク

- ・太陽光パネルが隣接地から見えなくする必要
- ・フェンスや植栽を設けることが必要
- ・太陽光パネル設置のための森林の減少による土砂災害、鉄砲水、健康被害の発生のおそれ
- ・住民に対する圧迫感、健康被害、環境への負荷を与えない設置が必要



# ことばネットワークの分析2

## ②北杜市を基点としたネットワーク

- ・ 自然環境、景観が**良好**な北杜市
- ・ **豊か**な自然、自然に**恵まれた**北杜市
- ・ 自然と文化が躍動する**環境創造都市**  
(北杜市の基本理念)



# ことばネットワークの分析3

## ③景観を基点としたネットワーク

- ・ 景観を阻害しない方策が必要
- ・ 事業用太陽光パネル設置のための森の破壊による景観の悪化
- ・ 景観悪化の可能性、景観悪化による不動産価値の低下の可能性



# ことばネットワークの分析4

## ④その他(植栽・後退)を基点としたネットワーク

- ・ 事業用太陽光パネル敷地周囲への事業者による植栽の義務化の必要性
- ・ 歩行者および周辺の景観を守るために道路境界、敷地境界からの後退距離を定める必要性



## 6. まとめ

北杜市が作成した景観計画(案)に対して住民は様々な意見や不満を持っていることがわかった。

景観計画(案)内の曖昧な表現の改善を指摘する声、北杜市の自然・景観の保護をすべきとする声、事業者と住民との太陽光パネル設置に関する合意形成の義務化を求める声などがパブリックコメント内で多数あがっていることがわかった。

北杜市の先進的な事例から、事業用太陽光パネルを設置する際の規制づくりの重要性が明らかになった。



# 参考文献

[1] 北杜市；北杜市景観計画 <https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/biz/machi/machi/pdf/45879815341.pdf>  
(アクセス日：2016年10月26日)

[2] 北杜市；北杜市景観計画の変更案で寄せられたパブリックコメントについて <https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/hokuto/shiyakusyo/soshiki/pdf/1.pdf> (アクセス日2016年10月26日)

[3] 山梨日日新聞；平成28年1月25日掲載記事

[4] 山梨日日新聞；平成28年1月31日掲載記事